

★ふれあい ☆まなび ○つなぐ
地域づくりの拠点

花園公民館

文責 公民館長 堀内 澄夫

第二回成人講座

「認知症サポーター養成講座」

宇土市地域包括支援センターと連携し、八月二十五日(金)にサポーター養成講座を実施しました。当日は、二十四名の参加でした。



包括支援センターの職員

からは①認知症という病気を知ること②自分でできることを考える③地域の高齢者を見ながら支えていきたいと思いますという三点について、



スクリーンや様々な手法(リフレクシユ体操、コグニサイズ、ロールプレイ、ワークシヨップ等)を活用し、説明されました。受講生の皆さんは最後の最後まで興味を持って

参加されていました。受講生の感想では「この数年で認知症は五人に一人の割合と聞いてびっくりしました」とか「二人のロールプレイを聞きながら、自分だったら認知症にかかった家族にどのように対応するか考えさせられた」等の声が聞かれました。

第四回青空教室

「環境学習とり・グラスアート」

環境学習センターの平尾指導員をお招きし、一・二年生を対象に「環境学習とり・グラスアート」を九月九日(土)に実施しました。当日は、三十名の子供たちが参加しました。



平尾指導員からは一・二年生が興味を引くような宇宙や地球の話から入られて、身近な海や川に住んでいる生き物に、今様々な問題が発生していることを分かりやすく説明されました。その後、

「リ・グラスアート」の制作について説明がありました。子供たちは意欲的に作業に取り組んでいたのが印象的でした。



子供たちの感想では「最初は作業が難しいかなと思ったが、後では慣れて楽しく作れました」とか「ゴミのポイ捨てはしないように心がけます」等の声が聞かれました。

第一回生涯学習講座

「健康寿命体操教室」

本年度初めての生涯学習講座「健康寿命体操教室」を九月十三日(水)に実施しました。当日は、十四名の参加がありました。開講式では、健康寿命の意義、年間の実施計画についての説明と講師の光井靖子先生を紹介しました。



活動の内容としては、動作を入れた「しりとりにゲーム」、マットの上での足のツボのマッサージ、イスを使ったスクワット、ラジオ体操等を



取り入れられていましたが、受講生は、楽しくリラククスしながら気持ちいい汗をかいておられました。

受講生からは「和気あいあいの中で体を動かしたりしたので、リフレクシユできました」とか「先生が明るく元気に指導されている姿を見て、元気をもらいました」等の感想を聞くことができました。

館長のつぶやき

私と妻、共通して趣味が合っているのがあります。「美味しい物を食べること」です。月に数回は外食をして「ここは美味しかったね」とか「ここはもう少しだったね」とか言っていて楽しんでます。

先日、大型ショッピングセンターで買い物をして、そのセンター内で、昼食をとることになりました。二人ともハンバーグが好きなので、ハンバーグとオムライス専門店に入りました。そこで、店員さんが「これで注文をお願いします」とテーブルに置かれたのは、一枚のQRコードでした。スマホでQRコードを読み取り、注文をするシステムでした。最近、回る寿司やカラオケ店では、iPadを使っての注文には慣れてきましたが、さすがにQRコードでの注文は初めてでした。妻がスマホを使って注文しましたが、二人とも注文できたか不安で待っていました。店員さんが注文した物を持ってこられたので、ホッと食べたところです。ちなみに、ハンバーグランチは美味しかったです。